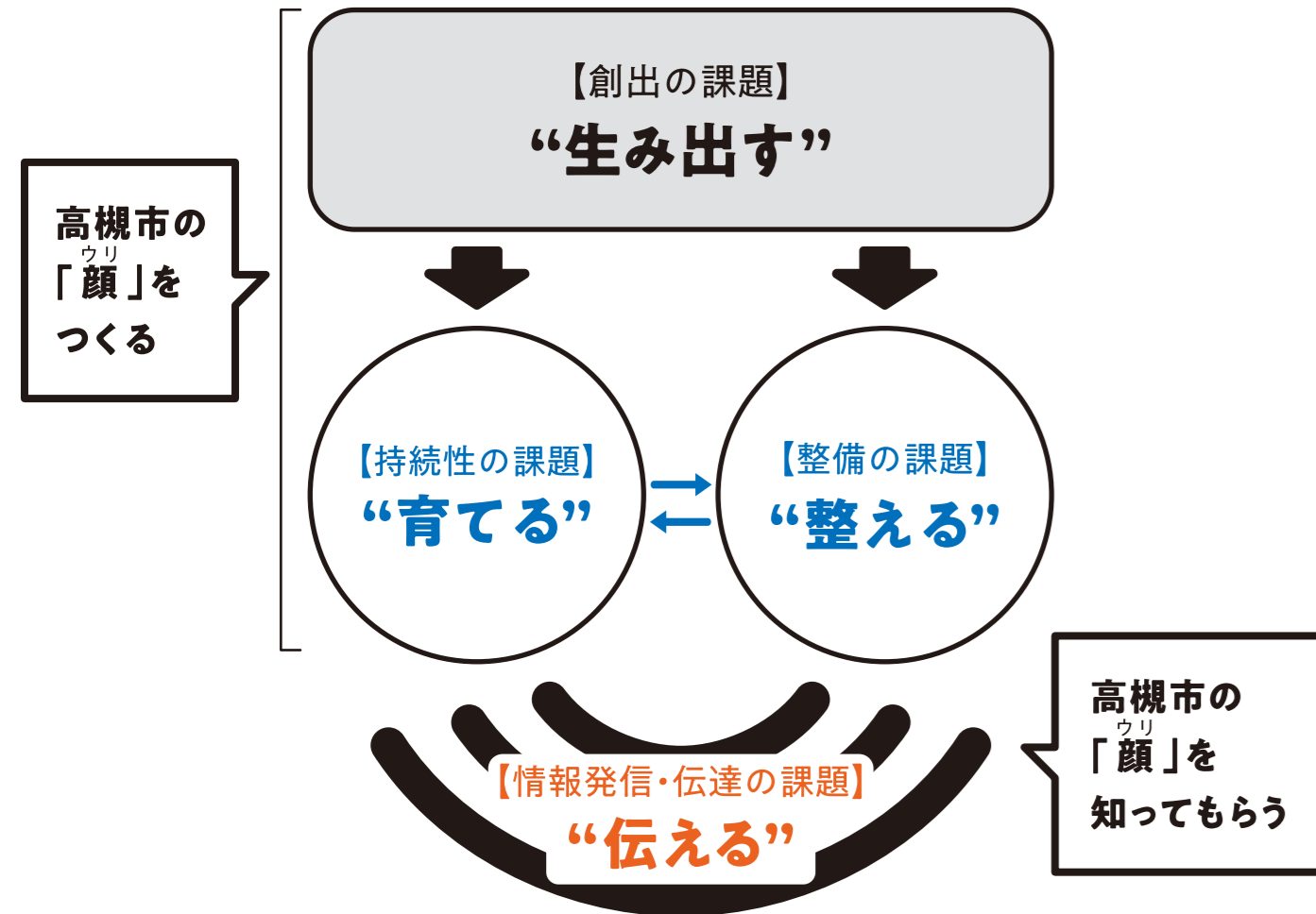


4 基本理念・基本目標



基本理念：働きたい、訪れたい、にぎわいあふれる街

- 基本目標 ①：【生み出す】 本市の顔を形作る魅力ある企業や個店の創出
 基本目標 ②：【育てる】 本市の顔を形作る魅力ある資源の持続と拡大の支援
 基本目標 ③：【整える】 本市の顔を形作る要素を整えるための環境づくり
 基本目標 ④：【伝える】 本市の顔を戦略的に市内外へ伝える情報戦略

5 期間と推進体制

- 期間は、令和3年4月～令和13年3月(10年間)とします。
- ビジョンの推進にあたっては、PDCAサイクルを徹底するため、3年度ごとに実施計画を策定して進捗管理を行うとともに、その達成状況に応じて適宜、見直しを図ります。
- 関係団体、事業者、市民等、多様な主体と連携して推進を図ります。



高槻市 街にぎわい部 〒569-0067 高槻市桃園町2-1

産業振興課
TEL 072-674-7411 FAX 072-675-3133
E-mail sangyous-82@city.takatsuki.osaka.jp

観光シティセールス課
TEL 072-674-7830 FAX 072-674-7721
E-mail tak0387@city.takatsuki.osaka.jp

この印刷物は再生紙を使用しています

概要版

高槻市 産業・観光振興ビジョン



1 ビジョン策定の目的と考え方

本市が自立した都市経営を行うために、税収及び地域雇用の確保を図るとともに、市内の多様な観光資源を活用することで、地域経済の発展と交流人口を増加させることを目的とします。

そのため、従来は産業振興の一部門に位置付けていた「観光振興」について、産業振興と同格の施策分野とし、かつ、産業振興と密に連携しながら推進していくこととします。

そして、これまでの「産業振興ビジョン」と、その下位計画である「観光振興計画」を統合し、産業(商業(サービス業含む)及び工業)と観光の振興を総合的に推進するための計画を新たに策定しました。

策定にあたっては、従来の施策の成果を踏まえ、商業、工業、観光各分野の課題を整理し、本市の産業・観光振興に取り組む基本理念を掲げ、市及び関係者が展開すべき振興策の方向を打ち出しています。

2 ビジョンの位置づけ

第6次高槻市総合計画に掲げる8つの基本構想のうち、産業・観光分野と関係の深い「魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち」の実現に向けた産業・観光振興を図るための指針とします。

第6次高槻市総合計画におけるまちづくりの合言葉と8つの基本構想
まちづくりの合言葉「輝く未来を創造する 関西の中央都市 高槻」

- 都市機能が充実し、快適に暮らせるまち
- 安全で安心して暮らせるまち
- 子育て・教育の環境が整ったまち
- 健やかに暮らし、ともに支えあうまち
- 魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち
- 基本構想を実現するための産業・観光振興
- 良好な環境が形成されるまち
- 地域に元気があって市民生活が充実したまち
- 効果的・効率的な行財政運営が行われているまち

3 産業・観光の課題

『産業・観光振興ビジョン』では、施策分野を「商業」「工業」「観光」の3分野に分けており、それぞれの課題を踏まえ、基本理念及び基本目標を設定しています。

商業	工業	観光
<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化 ・創業支援 ・製造業との連携促進 ・地域に根付いた商業の継続発展 ・商業団体等の活動促進 ・事業承継へのサポート ・中心市街地の環境整備 ・支援施策の活用促進 ・商業都市としての魅力伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規企業の参入準備 ・市内の企業定着に向けた環境づくり ・市内事業活動の活性化支援 ・企業間交流の活性化 ・BCP策定促進 ・事業承継へのサポート ・支援施策、支援機関の周知 ・本市での企業運営のポテンシャルや魅力発信・伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験交流型観光の推進 ・高槻らしい土産・特産品の推進 ・観光受け入れ体制の強化 ・観光事業者の活性化 ・「高槻好き」の育成 ・新たな観光基盤の活用 ・自治体間の広域連携 ・インバウンド対応の推進 ・観光ターゲットと観光資源の選択と集中 ・情報発信の方法

3分野共通の課題 **魅力的な高槻市の「顔(ウリ)」をつくり、知ってもらうこと**



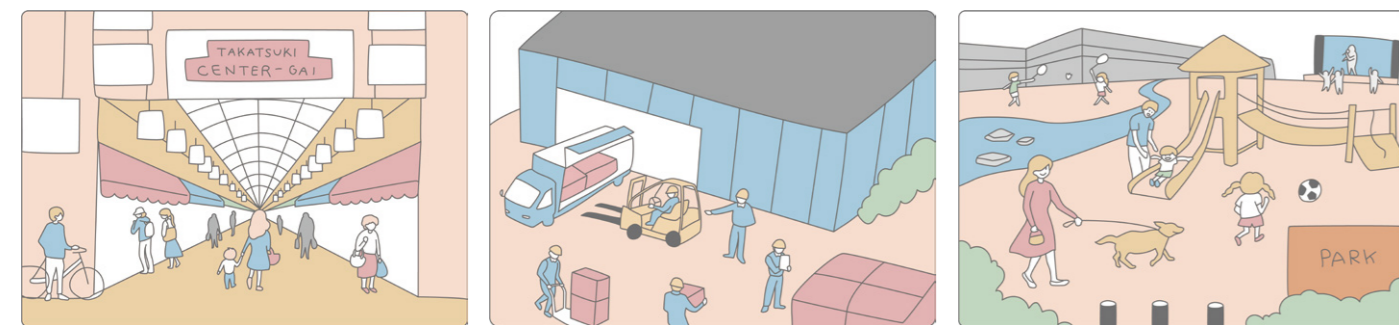
6 目指す将来像と各分野の施策

“いきいきと活動する街の人々と、多くの来街者との温かく活発な交流が、街全体に活気を生み出す”。そんな「働きたい、訪れたい、にぎわいあふれる街」の実現を目指します。

そのために、各分野の課題に応じた施策について、一体的に取り組むことで、産業・観光の振興とまちのにぎわいづくりを推進します。

全体の目標達成指標(KGI)

市民意識調査を実施し、市民にとって高槻市が「働きたい、訪れたい、にぎわいあふれる街」であると実感しているかを測る。商業、工業、観光を通じて「街がにぎわっている」と感じる市民の割合(10年後)



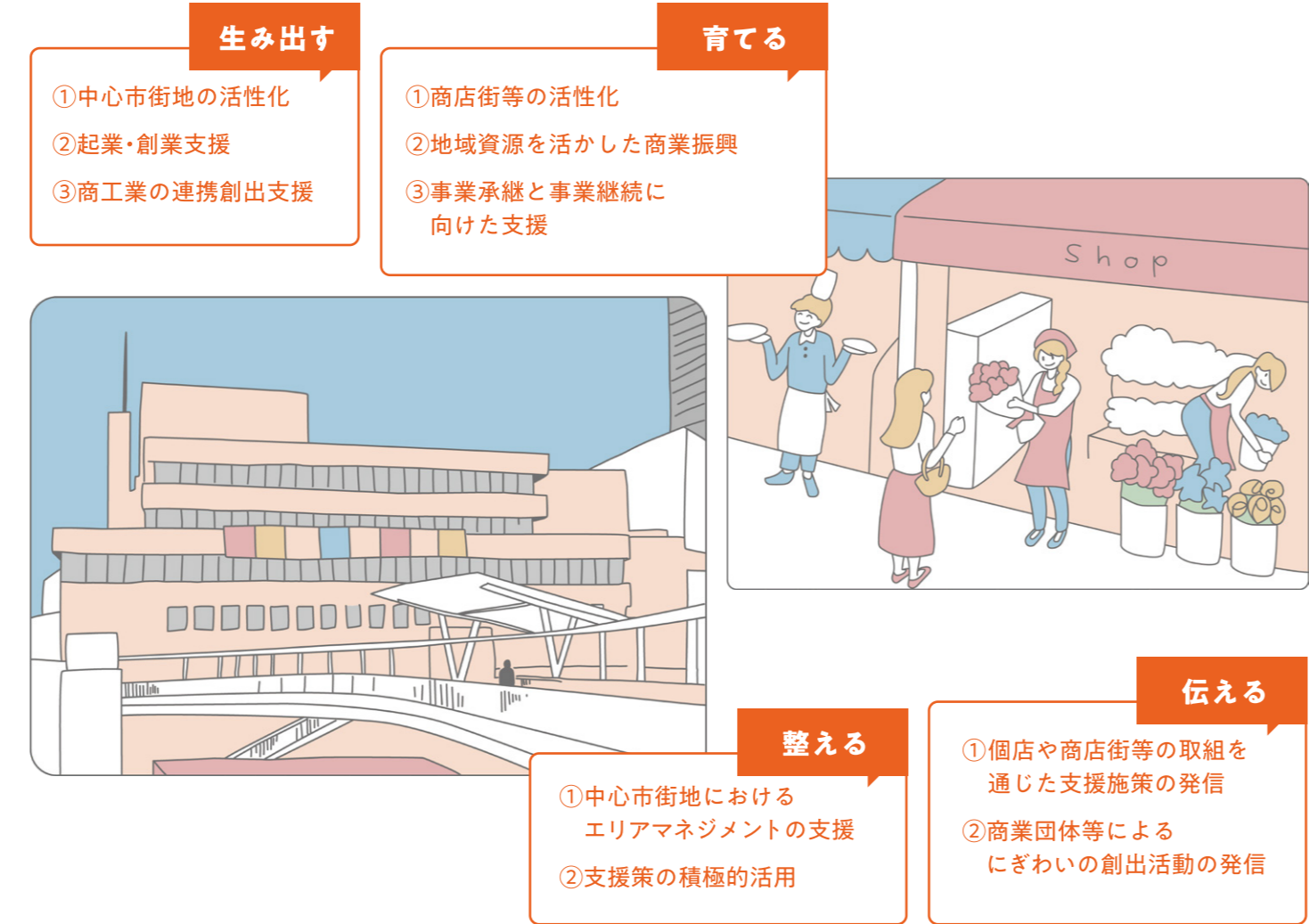
【商業分野の振興】

<将来のイメージ>

市内の店舗は常に消費者ニーズやトレンドに合わせて、既存顧客の維持と新規顧客獲得策を検討しながら活発に営業している。魅力的な店舗が多いことから「高槻市内に店舗している」ということが一つのステータスになり、創業・出店を希望する人で溢れている。また、空き地や空き店舗も様々な形で有効活用されている。

商店街は単なる買い物の場に留まらず、地域住民の交流の場となり、中でも中心市街地は「街の玄関口」として市内外からの来訪者が集まり、多くの人が楽しめる空間となっている。

基本目標	指標(KPI)	基準値	目標値	計測等
生み出す	支援した創業件数	79件(R1)	800件(R3~R12)	「高槻創業支援ネットワーク」参画機関が支援した創業件数を計上
育てる	商店会新規加入店舗数	10件(R1)	100件(R3~R12)	高槻市商店街連合会の加盟商店会における新規加入店舗数を計上
	融資あっせん件数	143件(R1)	1,500件(R3~R12)	「高槻市中小企業事業資金融資制度」によるあっせん件数を計上
整える	歩行者通行量	78,266人/日(R1)	83,000人/日(R12)	中心市街地3地点における歩行者通行量の平日・休日平均値を計上
伝える	施策情報紹介件数	131回(R1)	1,350回(R3~R12)	市HP等における支援施策の紹介件数を計上



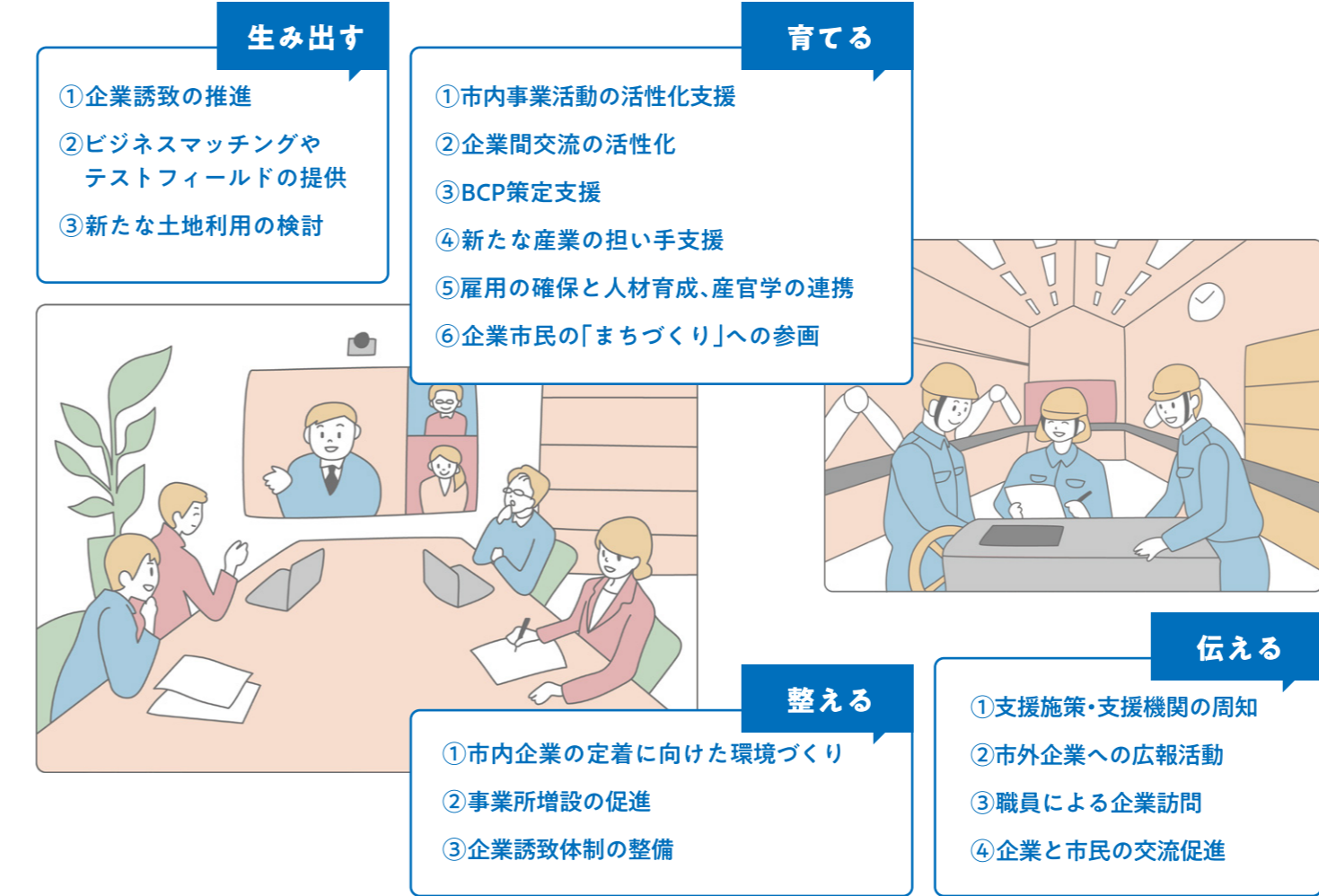
【工業分野の振興】

<将来のイメージ>

既存の市内企業は、新事業の立ち上げや企業間の連携等により、さらに活発な活動を見せている。また、新たな企業が進出し、本市を拠点に活動しており、新規進出企業による雇用が定住人口の増加要因に寄与している。働く環境が良好なため、本市で働きたいという起業家や労働者が増えている。大企業のみならず、中小企業もその魅力を維持し、個性的な事業所が多数存在している。

市民の生活環境と調和した、安心できる操業環境に加え、事業を継続しやすい立地、活発な事業者間の交流、支援施策等が整っていることから、他地域からの移転や創業の候補地として選ばれている。

基本目標	指標(KPI)	基準値	目標値	計測等
生み出す	事業者指定数	24件(H17~R1)	50件(H17~R12)	高槻市企業立地促進条例に基づく事業者指定数を計上
育てる	ものづくり企業交流会参加企業数	42社(R1)	50社(R12)	高槻市ものづくり企業交流会の会員企業数を計上
	支援に対する満足度	48%(R1)	60%(R12)	企業向けアンケートにより集計
整える	支援策活用件数	17件(H22~R1)	20件(R3~R12)	企業定着補助金等、企業向け支援施策の活用件数を計上
伝える	産業フェスタ来場者数	6,500人(R1)	7,000人(R12)	「たかつき産業フェスタ」の来場者数を計上



【観光分野の振興】

<将来のイメージ>

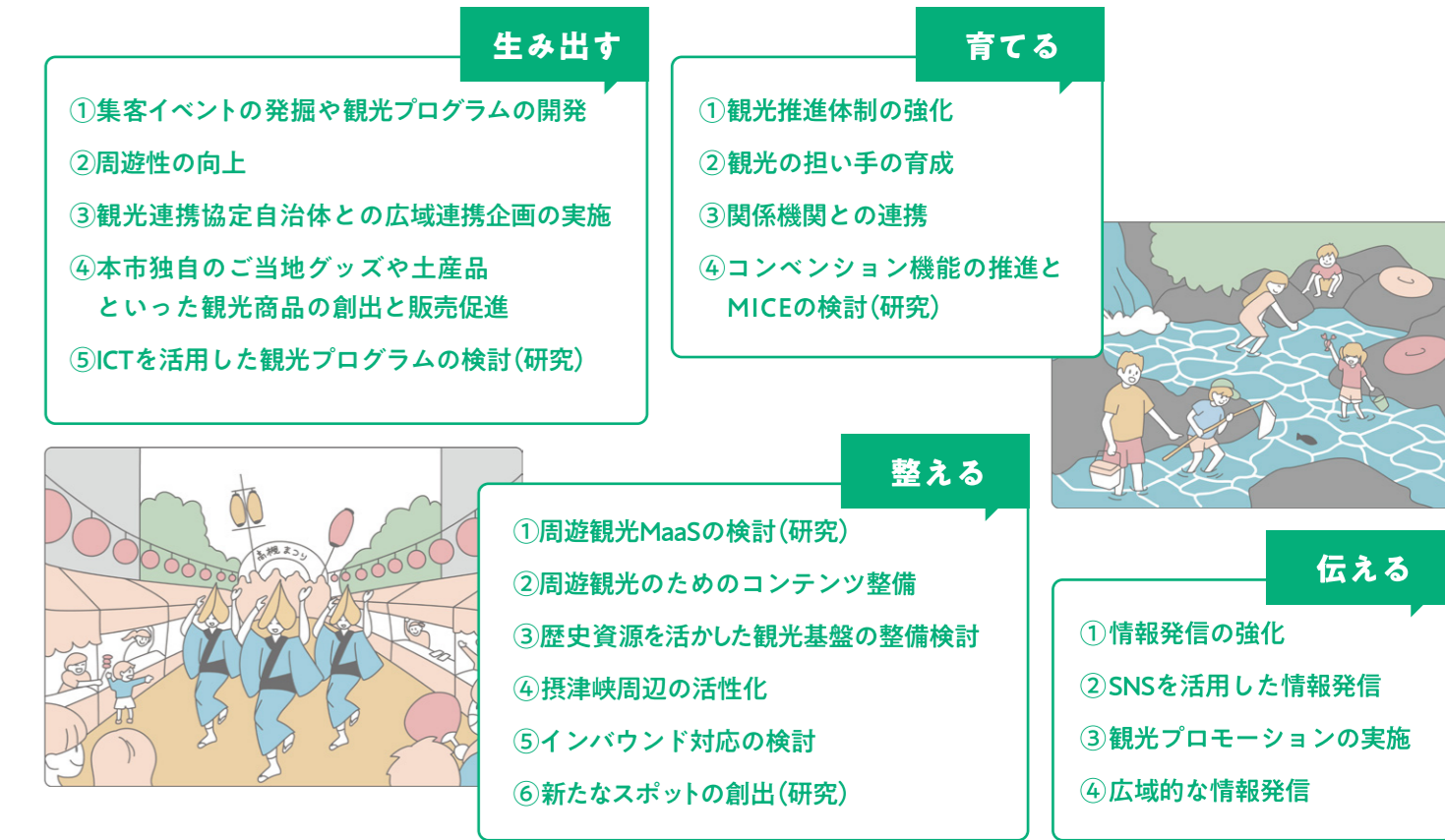
(公社)高槻市観光協会を中心とした事業者ネットワークが構築され、様々な資源を活用した体験観光プログラムの開発が進み、幅広いジャンルのイベントが市内随所で行われている。

公共交通機関を含めて観光動線が確保されており、「来て・見て・回遊して・楽しむ・食す」といった観光の要素を十分満喫できる環境が整っている。

事業者・市民・行政が一体となって来訪者をもてなす雰囲気を作り出しており、市民は本市への愛着を持ち、来訪者は自分の嗜好に合わせ、大規模集客イベントから地元個店によるワークショップ等の小規模企画まで、本市でのみ味わえる「たかつきDAYS」を楽しんでいる。歴史やサブカルチャー、食をはじめとする個性的な地域観光資源の魅力を現地だけでなく、観光関連サイトやSNS等においても、至るところで触れることができる街になっている。これらの魅力がマスメディアにも取り上げられ、賑わいが絶えない街となっている。

基本目標	指標(KPI)	基準値	目標値	計測等
生み出す	市内で過ごす市民数と市外からの来訪者数	9,643,063人(R1)	毎年増加	高槻市における主要イベント実施日及び観光シーズンの土・日曜日、祝日を合計30日設定し、GPSの位置情報を取得。市内人口を基に推計値を算出。
育てる	ネットワーク会議参加事業者数	30者(R1)	50者(R12)	「オープンたかつきネットワーク会議」に参加する事業者数を計上
整える	観光アプリのダウンロード数	—(※)	前年度比5%増	(公社)高槻市観光協会が提供する観光アプリのダウンロード数を計上
伝える	観光関連サイトの閲覧数	578,879PV(R1)	前年度比5%増	市または(公社)高槻市観光協会が運営する観光情報サイトの閲覧数を計上

※観光アプリは令和2年度にリリースするため、年度末のダウンロード数を基準値とする。



7 ビジョンの推進

① ビジョンの推進にあたっては、PDCAサイクルを徹底するため、3年度ごとに実施計画を策定して進捗管理を行うとともに、その達成状況等に応じて適宜、見直しを図ります。

② 関係団体、事業者、市民等、多様な主体と連携して推進を図ります。